

利島

Toshima

恵みを満喫、幸6000年の里島さとしま

東京からジェット船で2時間半。洋上に浮かぶ緑のピラミッド、利島。

遙か6000年の昔。縄文時代の太古から、島びとは島の恵みを永続的に手にするために、

この小さな島との関係を築いてきました。

人の知恵と自然の恵みの調和。いわば、6000年の里山の歴史。

海の幸、山の幸、地の幸、お互いを慈しみ合って育ててきた人の幸。

島と人の長い長い時の物語が、そこにあります。さあ、お出かけください。里山ならぬ、里島へ。

自然と人との幸せな関係を味わいに。12月から3月は椿も見頃。

伊勢エビ、サザエ、磯ものならば一年中。

周囲8キロにも満たない小島は、あふれんばかりの幸多き島、幸多かれと祈る島。

島の宝物

(コンセプトを支える事実・特徴)

ヒト

人口300人でほぼ一定
ほぼ顔見知り
Iターンの人が多い
若い人が多い
お年寄りを親しみを込めて呼ぶ
一芸に秀でている人が多い
経験豊富な人が多い
年齢を気にせず交流できる
挨拶が溢れている

モノ

日本一の椿油
一年中花が咲いている
サクユリ
玉石
イソモノ(酒蒸し・煮る・焼く・味噌汁)
大きい伊勢海老、サザエ
魚食べ放題
集水装置(シデ・カメ)
オオミズナギドリ
手ぬぐい
イルカとウミガメ
煮干しもち
ウツボ

コト

船着かない
日帰り可能な島
風に名前がついている
月の道が見える
流れ星が見える
夕焼けが綺麗
手ぬぐいで踊る利島音頭
運動会・文化祭・展覧会 村民全員参加
煙る椿林に差し込む光
突然家にヒトが来る
屋号、印が残っている
月が明るく、夜は暗い
1人当たり神社数日本一

バ

山の形が良い
玉石の石段を登る
椿の段々畑を駆け下りる
村の真ん中に学校がある
透明度の高い海
浜・川・信号・コンビニがない
細い道と坂
どの方角でも抜けのいい風景
最近居酒屋ができた
ボーリング場がある